

① ナラ枯れって？



ナラ枯れとはドングリのなる木が真夏に紅葉したように紅くなって枯れてしまう病気です。

病気の原因はカシナガという 5mm ほどの黒い虫が木に住みつくことによって起こります。

「池田・人と自然の会」

②ナラ枯れの木の根元は？



カシナガは 5~7 月に主に木の根元に穴をあけて入り込み樹木内を掘り進んで木くずをせっせと出しながら子育てをします。1匹のメスと1匹のオスが、多い場合は500匹、平均で10~30匹の子どもを育てます。子どもたちは翌年の5~7月に木から巣立ってたくさんの別の木に病気をうつします。

「池田・人と自然の会」

③カシナガってどんな虫？



子どもたちはオス親が最初にあけた穴から巣立ちます。オス親は巣穴に木くずがたまらないように子どもたちが巣立つ5~7月まで1年間も巣の中の掃除をし続けます。通常親は木から出てきません。ところが巣穴の入り口に濡れタオルを当てておくとタオル内に通り道を作って木くずを出すようになり巣穴からおびき出すことができます。

「池田・人と自然の会」

④ タオル内の様子は？



そこで 7～10 月に巣穴にタオルを当てて時々中をのぞいてみるとたまたま通りかかっているオス親を捕まえることができます。オス親がいなくなると巣の中に木くずがたまり、残されたメス親も子どもたちも生活できなくなります。

ドングリの木がまだ活着しているうちにオス親を捕獲して木が枯れなくてすむと翌年からその木はナラ枯れに抵抗力を持つ木になります。

「池田・人と自然の会」

⑤ お願い

ちょっとのぞいて見て下さい！

どなたでも!!

タオルは水で濡らしてあるだけです。薬等は一切含んでいません。

ビニールシートでおおっているのは乾燥を防ぐためです。タオルが乾くと居心地が悪くてカシナガは急いで木の中に戻ってしまいます。

タオルをのぞいてカシナガが見つかったら木にぶら下げている容器の中に入れて下さい。後日回収します。

親はいつタオル内を通りかかるか分かりません。毎日点検すれば毎日捕まります。1匹捕まえれば来年の20匹!!

五月山に豊かな緑が保てますようにご協力お願いします。

⑥協力いただける方へ

☆カシナガは素手で捕まえて大丈夫です。かまないし毒もありません。すぐには飛ばないのであわてる必要もありません。落としてもおそらく自分の巣穴には戻れないので探し回る必要もありません。

・容器内には生きたまま入れてもらって結構です。

・タオルは元通りに木の根元に密着して置いて下さい。できれば水をかけて濡らして下さい。

☆虫をさわるのが苦手、という方はタオルを濡らしていただけるだけでありがたいです。

質問はホームページのウェブマスターにメールでお願いします。

「池田・人と自然の会」 <http://hitoshizen.jp>